



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月6日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション  
 コード番号 9385 URL <http://www.shoei-corp.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 有村 芳文

TEL 06-6233-2636

四半期報告書提出予定日 2018年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	8,651	11.8	279	7.9	264	6.7	171	4.4
2018年3月期第2四半期	7,739	6.8	303	18.7	283	72.2	179	90.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 114百万円 (56.6%) 2018年3月期第2四半期 263百万円 (109.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	26.38	
2018年3月期第2四半期	27.81	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	8,515	2,477	29.1	378.65
2018年3月期	8,416	2,424	28.8	372.78

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,477百万円 2018年3月期 2,424百万円

(注) 2019年3月期第1四半期の期首より、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		13.00	13.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭、記念配当 3円00銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	5.2	583	2.2	550	1.9	406	13.1	62.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	6,850,000 株	2018年3月期	6,850,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	308,005 株	2018年3月期	346,000 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	6,515,212 株	2018年3月期2Q	6,464,219 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2)財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景に企業の業績や雇用環境の改善、設備投資の増加により緩やかな回復基調が続きました。一方で全国各地で発生した自然災害により、夏場にかけて消費や企業活動の停滞等、景気回復への一時的な影響が懸念される状況で推移しました。

海外では、中東・北朝鮮の地政学的リスク、さらには米国の貿易通商政策による貿易摩擦の懸念や、金融資本市場の変動リスクなどにより依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原油価格の高騰や為替の変動、人件費の増加、運賃の値上げといった景気を下振れさせる懸念材料がある中、商品調達のさらなる向上と営業社員の意識改革の推進等を図り、今期の経営戦略である販促営業の推進と充填セットの強化に努めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,651百万円(前年同期比11.8%増)となりました。しかしながら利益面につきましては、タイ子会社においては原料費の高騰や為替の変動、国内におきましても人件費や運賃の上昇といった外部要因による影響を受け、営業利益は279百万円(前年同期比7.9%減)、経常利益は264百万円(前年同期比6.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は171百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パッケージ事業)

当セグメントにつきましては、プロモーション営業といった販促営業の推進や充填セット作業の強化等により売上高は前年を上回ったものの、タイ子会社においては原料高騰やパーツ高が続いていることによる利益の減少、国内では運賃効率の悪化等があったことからセグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、売上高4,733百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は390百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

(メディアネットワーク事業)

当セグメントにつきましては、前期に引き続き販売促進品の提案を行う事業への転換を進めたことで、従来からの配送費の低減や納期短縮等の提案を行う一気通貫サービスに対しても再評価を得、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、売上高は2,011百万円(前年同期比34.1%増)、セグメント利益は77百万円(前年同期比39.3%増)となりました。

(日用雑貨品事業)

当セグメントにつきましては、消耗品を中心とした新商品の投入を積極的に進め、海外協力メーカーとの強いパイプによる商品力の向上や商品企画開発力の強化に努めたこと、また販路をドラッグストア等の量販店に進めていったことから売上高は前年同期を上回りました。しかしその量販店の売上構成比が高くなってきたことや、100円ショップにおいては利益率の高い新商品の納入遅れや運賃の値上げ等により販管費が増加したことで、セグメント利益は前年同期を下回ることとなりました。

その結果、売上高2,112百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は95百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、子会社が物流倉庫の賃貸を行っており、売上高は12百万円、セグメント利益は8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は8,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しました。これは主に商品及び製品等が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金等が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は2,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	646,201	639,514
受取手形及び売掛金	2,861,758	2,816,269
電子記録債権	248,307	273,242
商品及び製品	1,332,241	1,462,705
仕掛品	130,348	148,423
原材料及び貯蔵品	80,372	78,370
その他	348,682	292,526
貸倒引当金	△6,116	△6,219
流動資産合計	5,641,796	5,704,834
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,125,712	1,125,712
その他 (純額)	785,663	802,205
有形固定資産合計	1,911,375	1,927,917
無形固定資産		
その他	57,555	111,374
無形固定資産合計	57,555	111,374
投資その他の資産		
その他	817,049	780,965
貸倒引当金	△10,836	△9,814
投資その他の資産合計	806,213	771,150
固定資産合計	2,775,145	2,810,442
資産合計	8,416,941	8,515,277
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,229,703	2,373,787
短期借入金	2,240,000	2,050,000
1年内返済予定の長期借入金	151,770	182,910
未払法人税等	97,164	107,740
未払消費税等	30,597	46,634
賞与引当金	104,232	111,106
その他	330,604	361,267
流動負債合計	5,184,072	5,233,446

( 単位 : 千円 )

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2018年 9 月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	333,050	325,550
退職給付に係る負債	78,904	75,215
長期未払金	145,052	145,052
その他	251,272	258,879
固定負債合計	808,279	804,697
<b>負債合計</b>	<b>5,992,351</b>	<b>6,038,144</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	229,400	229,400
資本剰余金	159,176	175,478
利益剰余金	1,849,961	1,937,264
自己株式	△61,588	△54,827
株主資本合計	2,176,949	2,287,314
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	200,192	146,677
繰延ヘッジ損益	△13,446	-
為替換算調整勘定	60,895	43,140
その他の包括利益累計額合計	247,641	189,818
純資産合計	2,424,590	2,477,132
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,416,941</b>	<b>8,515,277</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	7,739,725	8,651,270
売上原価	6,155,953	7,007,127
売上総利益	1,583,772	1,644,143
販売費及び一般管理費	1,280,256	1,364,649
営業利益	303,515	279,494
営業外収益		
受取利息	247	168
受取配当金	2,707	3,380
資材売却収入	2,035	2,922
その他	2,346	2,598
営業外収益合計	7,337	9,070
営業外費用		
支払利息	16,294	17,517
為替差損	7,090	3,278
その他	4,218	3,417
営業外費用合計	27,603	24,213
経常利益	283,249	264,350
特別利益		
固定資産売却益	207	-
特別利益合計	207	-
特別損失		
固定資産除却損	-	387
特別損失合計	-	387
税金等調整前四半期純利益	283,456	263,963
法人税、住民税及び事業税	103,119	123,156
法人税等調整額	536	△31,047
法人税等合計	103,656	92,108
四半期純利益	179,800	171,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	179,800	171,855

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	179,800	171,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,063	△53,515
繰延ヘッジ損益	16,736	13,446
為替換算調整勘定	4,426	△17,754
その他の包括利益合計	83,226	△57,822
四半期包括利益	263,027	114,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,027	114,032

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。